

京都市ユースアントレプレナーシッププログラム

探究学習等で活用できる動画・ワークシート【解説編】

先行きが不透明で将来の予測が困難な現代において、アントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成は、起業を目指す若者だけでなく、これからの社会を自分らしく生きる上でも重要になっています。

この度、京都市内に在住・通学する中学生・高校生等のアントレプレナーシップ（起業家精神）を醸成する「ユース・アントレプレナーシッププログラム」の一環として、アントレプレナーシップ導入用動画、京都で活躍する起業家へのインタビュー動画、ワークシートを作成しました。

高等学校の探究学習等での活用を想定した内容にしておりますので、「アントレプレナーシップ」や、「地域の活性化」等の探究学習に取り組まれる際に、是非ご活用ください。

なお、本動画・ワークシートについては、標準的な内容となっておりますので、学校に応じた変更・カスタマイズが可能です。各校ごとの授業モデルの作成をご希望される場合は、下記【お問合せ先】までご連絡ください。

【お問合せ先】

京都市産業観光局 スタートアップ・産学連携推進室
電話:075-222-3339

1 アントレプレナーシップ（起業家精神）醸成の意義

- 近年、日本においても多彩なスタートアップ企業が誕生していますが、時価評価 10 億ドルを超え、設立 10 年未満の非上場企業、いわゆるユニコーン企業数は、アメリカと比較すると、100分の1程度(※)にとどまっています。※内閣官房新しい資本主義実現本部事務局資料（R4.10）
- 経済産業省の調査によると、日本でスタートアップ企業が少ない要因として、「失敗に対する危惧」に次いで、「身近に起業家がない」、「学校教育」が上位に挙げられています。

- とりわけ、起業を望ましい職業選択と考える人の割合は2割程度(※)、アメリカの約6割と比較して低い数値となっており、若者だけでなく、社会全体で起業に対する理解を深める必要があります。
- なお、京都市の「ユース・アントレプレナーシッププログラム（起業家精神の醸成）」は、将来の起業家育成に向けた取組であると共に、多様な働き方を知りたい、自分らしく生きるヒントを得たいといった方も対象としています。

2 授業モデル

1 冒頭

- 授業の冒頭で、アントレプレナーシップの趣旨をお伝えください。「身近に自営業をされている方はいますか」や「知っている起業家はいますか」など、学習者がイメージしやすい情報をお伝えいただくことも効果的です。

【趣旨説明の例】

- リスクが高い！そんなかつての「起業」のイメージも、SNSの普及などで、有名な起業家の活躍する姿を身近に感じる機会も増えて、すっかり様変わりしてきました。
- ただ、いざ起業の夢を抱いても、開業資金は？協力者は？など、立ちは大壁。身近なところでは家族の反対、なんてこともよく耳にします。
- 本日は、起業家精神（アントレプレナーシップ）の基礎を学ぶと共に、実際に京都で起業した方に「どうして起業に至ったのか」「自分らしく生きるとはどういうことか」などをお尋ねしたインタビューを通じて、起業家精神の大切さを身近に感じていただきたいと思います。

2 導入動画

- 導入動画は約17分です。動画内に2つの「問いかけ」を用意していますので、視聴後、「問いかけ」に対する「考え」を共有することを推奨します。

<導入動画の内容（要約）>

- 以前よりも、お互いの価値観を認め合う世の中になったことで、人々の人生にさまざまな選択肢が生まれてきた。個人の価値観や生き方を大切にする『個の豊かさ』の時代が始まり、『自分らしく生きやすい社会』へと移り変わってきた。

- 一方で、21世紀は、予測困難な VUCA(ブーカ)時代に突入したと言われている。そのような時代においては、「自分や社会の未来を考えること」、「自分の現在地をとらえること」がまず重要。
- その上で、アントレプレナーシップ(困難や変化に応じながら、新たな価値を生み出していくマインド)を持つことで、自分らしく生きることを追求しやすくなる。
- アントレプレナーシップを構成するものは、課題発見力、課題解決力、創造力、意思決定力、コミュニケーション力、挑戦・前進力といった力である。
- 「未来を考えること」によって、課題発見力、創造力、コミュニケーション力を獲得しやすくなる。「自分の現在地をとらえること」で、課題解決力や意思決定力を高めることができる。
- 挑戦・前進力は、アントレプレナーシップにおいて最も重要な要素である。この力は小さい頃から育まれてきたはずであるが、大人になっても持ち続けることが難しい。今回、挑戦・前進力を持った起業家のインタビューを参考に、この力を継続させる方法を発見していただきたい。

＜動画内での問いかけ＞

問いかけ1:50年後の自分と社会が、どのような姿になっているか、想像してください。

問いかけ2:10年後のあなたはどのような姿になっていたいか、想像してみてください。

3 インタビュー動画

- 導入動画は約20分です。

京都で活躍する起業家が、起業のきっかけから挑戦することの面白さを語り、チャレンジ精神やアントレプレナーシップの重要性に気づく内容となっています。

＜インタビュー動画の内容（要約）＞

登壇者：株式会社一（ichi）／中馬一登 代表取締役

- 中高生時代の活動 | サッカー選手を目指して練習する日々。自分より強い人に気づき難しいなと痛感。夢ややりたいこともなくとりあえず大学に進学。
- 起業のきっかけ | 大学時代はやりたいことをずっと探していた。インドに旅をしていたときに出会った1冊の本が起業のきっかけになった。人に影響を与えることができる本の魅力に触れ、出版社を作ろうと考える。

- 挑戦を続ける理由 | 道なき道を進む困難な取り組みを挑戦といい、さらに大きな試みを起業家は挑戦できる。また、挑戦は自分自身を成長させるアクションであり、困難に取り組むことが楽しくなってくる。
- 挑戦する中高生へ | 小さなことからでもいいので挑戦してほしい。その一歩を踏み出すことでチャンスがやってきて、新たな自分と出会える。

4 まとめ・振り返り

- 動画視聴後、思考の整理、言語化を促すため、ディスカッションもしくは、アンケート等の方法で、「今回何を学びましたか」、「もっと学んでみたいことはありますか」などの問いを投げかけることを推奨します。

3 留意事項

- 京都の起業家による対面講義・インタビューを希望される場合は、下記【お問合せ先】までご連絡ください。

【お問合せ先】

京都市産業観光局 スタートアップ・産学連携推進室

電話：075-222-3339